

福祉サービス第三者評価

〔令和4年度〕

評価結果報告書

株式会社MIRATZ

MIRATZ東和保育園

評価機関

有限会社エテルノ

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	（理念） ・未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む ・心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む ・みんなを親しみ愛し、太陽のように温かい心を持った子どもを育む （方針） ・安全な環境の中で一人ひとりの育ちに寄り添い豊かな愛情を持って応答的に接する ・様々な経験を通して豊かな感性を育む・家庭との連携を大切にし、お子さまの成長を共に見守る
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	人材像・・・保育士の資格をもっていて、子どもが好きであること。 保護者や保育士、栄養士ともコミュニケーションをとることができ、明るく楽しく笑顔で接することができること。 子どもを優しく包み込む包容力があること。 役 割・・・子どもの生活のお世話をする。（基本的生活習慣を身に付けさせる役割） 子育て家庭のサポートをする。（保護者支援） 集団生活を通して社会性を身に付けさせる役割。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	広い視野を持つこと。 子どもの発達を理解して、関わること。 責任感があること。

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保育園に通っている園児13世帯13人に対して調査を行った。同一保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一番低い園児に対して回答して頂いた。		
調査方法	施設の職員が調査票を保護者へ配布した。記入された調査票は封緘のうえ返信用封筒による郵送または施設に設置した回収箱により回収を行った。		
	利用者総数	13	
	利用者家族総数（世帯）	13	
	共通評価項目による調査対象者数	13	
	共通評価項目による調査の有効回答者数	10	
	利用者総数に対する回答者割合（％）	76.9	

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」80.0%、「満足」20.0%の計100%であった。

自由意見では、「食育や感触遊びは家庭ではなかなか出来ないのありがたいです。」「少人数ならではのアットホーム感と、担任の先生以外の先生との交流も十分に感じられ、園全体で成長を見守って頂いているなど強く感じます。」など、子どもや保護者への配慮など職員の対応、日常の保育などに対する感謝の声が寄せられている。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関することや保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関することなど、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「自然や社会との関わり」「保育時間の変更」「安全対策」「行事日程」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「トラブル対応」「気持ちの尊重」「プライバシーの保護」「保育内容の説明」「不満や要望の対応」などの17問中16問が80%以上の支持を得ている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	20	0	0	0
「はい」の回答は100%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	9	1	0	0
「はい」の回答は90.0%、「どちらともいえない」の回答は10.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
共通評価項目	実数			

コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	8	2	0	0
「はい」の回答は100%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	8	2	0	0
「はい」の回答は80.0%、「どちらともいえない」の回答は20.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	10	0	0	0
「はい」の回答は100%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	9	1	0	0
「はい」の回答は90.0%、「どちらともいえない」の回答は10.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	10	0	0	0
「はい」の回答は100%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	9	1	0	0
「はい」の回答は90.0%、「どちらともいえない」の回答は10.0%であった。 自由意見では、「個人面談も実施頂けるし、職員の皆様がいつでも質問しやすい雰囲気を作っています」という声が寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	10	0	0	0
「はい」の回答は100%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	10	0	0	0
「はい」の回答は100%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	9	1	0	0
「はい」の回答は90.0%、「どちらともいえない」の回答は10.0%であった。 自由意見では、「自分でも気づいていなかった、体調の変化にも気づいて教えて下さいました」という声が寄せられていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	8	1	0	1
「はい」の回答は80.0%、「どちらともいえない」の回答は10.0%、「無回答・非該当」の回答は10.0%であった。自由意見では、「包み隠さずお話頂いている印象です」という声が寄せられていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	10	0	0	0
「はい」の回答は100%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	8	2	0	0
「はい」の回答は80.0%、「どちらともいえない」の回答は20.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	9	1	0	0
「はい」の回答は90.0%、「どちらともいえない」の回答は10.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	10	0	0	0
「はい」の回答は100%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	7	2	0	1
「はい」の回答は70.0%、「どちらともいえない」の回答は20.0%、「無回答・非該当」の回答は10.0%であった。自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No	共通評価項目		
1	カテゴリー1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1（1-1）		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の 7/7
	標準項目実施状況		
	評価項目1		
	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
	評価項目2		
	経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている		評点（〇〇）
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当
評価項目3			
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点（〇〇〇）	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当	
カテゴリー1の講評			
① 職員と保護者に、園の理念・方針の周知と理解に向け積極的に取り組んでいる 園の基本理念、保育方針、保育目標などが明確に示され、採用面接時に理念、方針、目標などについて説明を行っている。また、全体的な計画、保育マニュアルをいつでも確認できるよう書庫内に保管している。保護者に対しては、「入園のしおり」や重要事項説明書に明記し、4月保護者会で保護者会資料を用いて保育目標について丁寧な説明を行って理解を深め、多数の保護者の共感を得ている。 ② 経営層の役割や責任などは「内定式資料」などの資料を使って説明されている 経営層の役割や責任、園の体制などはさまざまなマニュアルや手順書に明記して周知されていることに加え、内定式資料の「園運営の考え方」「各職務の役割について」なども使って開園当初の職員会議などの場で年度の方針を説明している。営層は、事業所が目指していることの実現に向けて、少子化が進む中、選ばれる保育園にするため、紙おむつの定額サービスを導入した。また、リスクマネジメントを行い、かみ			

	つきやひっかきについての考え方を示している。経営層は目指している姿勢や意思を多彩な方法で表明し、職員を牽引している。 ③ 重要な案件の検討は全体による協働的な話し合いによって決定されている 運営面での重要な案件については、組織図を基に決定する手順が明文化されており、多くの重要事項は職員会議で決定されている。ICT化について、職員会議で周知した。手ぶら登園導入決定までは、会社へ相談した上で主任に相談している。その後、保育力向上リーダーに相談し、職員会議で周知した。導入するメリットを伝え、理解に努めた。利用者には手ぶら登園導入について、担任よりチラシと冊子を手渡しで配布説明を行っている。園だよりにも掲載して知らせている。		
2	カテゴリー 2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー 1 (2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点 (○○○○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
	サブカテゴリー 2 (2-2)		
	実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
	評価項目 1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点 (○○○)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
	評価項目 2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点 (○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当	
カテゴリー 2 の講評			

	① 保護者や職員の意向、地域の福祉ニーズなどを様々な機会に、把握や検討を行っている 保護者代表が参加する運営委員会で把握したニーズについて、連絡網メールを利用し、園だよりについて保護者全員の要望を聴取している。職員の意向は、昼礼や職員会議の中で把握している。把握した事に対して主任やリーダー会議で話し合い、改善へ向けて取り組んでいる。地域レベルや福祉、保育全般に関する情報の把握と分析に関しては、小規模保育事業者全体説明会に参加し園の利用状況を把握している。福祉事業全体の動向については、小規模保育事業者全体説明会の参加から現在の子育て世代のニーズを把握し紙おむつの定額サービスを導入している。 ② 園独自の中期計画に基づき、保育力の向上計画を策定して保育の運営を推進している 福祉事業全体の動向は、保育情報誌や関係機関（福祉広報）に目を通すほか、区から情報を得ている。事業経営を長期的視野に立って進めるために、事業所の運営状況の把握や園内で使いやすいように中・長期事業計画書に整理して、その内容は多岐にわたるが、定量化された目標が多く、定量化されている目標は少なかった。園のビジョンの実現に向けて、定量化した目標を掲げ、中間反省や事業報告に取り組んでほしい。		
3	カテゴリー 3		
	経営における社会的責任		
	サブカテゴリー 1 (3-1)		
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2 / 2
	評価項目 1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
	◎あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当
	サブカテゴリー 2 (3-2)		
	利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4 / 4
	評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
	評価項目 2 虐待に対し組織的な防振対策と対応している		
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリー 3 (3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5 / 5	

	評価項目 1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点 (〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
	評価項目 2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点 (〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
	●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
	カテゴリー 3 の講評		
	① 運営委員会を開催して園の透明性を高め、実習生等の受け入れ体制も整えている 年に2回運営委員会を実施し、利用者の意見や要望を把握している。園の透明性を高める取組として、第三者委員や保護者代表を含めて運営委員会を開催し、利用者の意見や要望を把握している。実習生の受入れは地域貢献リーダーを中心に近隣の小中学校や専門学校、短大にチラシを送り、受け入れの意思を伝えている。実際に近隣中学校より職場体験の依頼があり、11月に実施の予定としている。苦情対応の窓口の案内については、受付担当者、解決責任者を園のしおりや園の玄関に明示しており、第三者委員者についても知らせている。		
	② 社会的責任のある、信頼性の高い組織づくりに取り組んでいる 園で少し気にかかることがあると、組織として積極的に捉えて対応しようとする姿勢があり、保育や子育て支援事業を担う事業所として社会的責任を果たす運営がなされている。職員の訴えから不安に思うことがあると、保育中の何かが影響したのではないかと配慮するなど、具体的な相談事例からもその姿勢は垣間見える。この意識は、保育方針の理解や園が定める「職員間倫理」に基づいた行動の振り返りを行う機会があることで醸成されている。保護者や関係者が安心して園に関わることができる信頼性の高い組織づくりに取り組んでいる。		
	③ 子どもが成長する上で地域連携や地域資源の活用はとても重要なことと位置づけている 働く女性が安心して子どもを預けられるように、園見学者に育児相談、保育園体験、給食体験にお誘いし、園のことを紹介している。地域関係機関のネットワークとして地域小規模保育室連絡会に加入、小規模保育事業全体説明会や法人の園長会に参加し、情報を共有し、課題を検討している。地域の共通課題として、海拔0メートル地帯のため水害時や災害時に緊急避難先として近隣のマンションへ依頼し承諾を得ている。近隣の保育園、児童館、公園、図書館等、地域の公共施設を積極的に利用し、地域とのつながりを多くもつようにしている。		
4	カテゴリー 4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー 1 (4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 5
	評価項目 1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点 (〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当

	☒ あり ☐ なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	☒ あり ☐ なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー 2 (4-2)			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4
評価項目 1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている 評点 (○○○○)			
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている		○非該当
☒ あり ☐ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している		○非該当
☒ あり ☐ なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている		○非該当
☒ あり ☐ なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している		○非該当
カテゴリー4の講評			
① 優先順位はつけていないが、想定できる範囲でリスク対策を講じている 明確な優先順位はつけていないが、特に意識している対策は、午睡確認をしっかり行い、記録をとることでSIDS発生時の対策をする。園内研修も実施する。避難訓練計画を基に訓練を実施し、災害時に備える。引き取り訓練も実施する。事故を未然に防止するため、ヒヤリハットを記入し、職員で共有し、改善策を検討したり、避難訓練計画を立て、避難訓練の意義等を確認し、毎月訓練を実施したりしている。さらに、園内研修計画を実施しており、園舎への侵入予防として侵入の恐れがある東側の窓に面格子を設置し、外階段の隙間にフェンスを増設している。			
② コロナウイルス感染症の対策を行い、今年度は避難先での受け渡しの練習を行っている 新型コロナウイルス感染症対策計画、災害時事業基本計画を作成している。新型コロナウイルス感染症によってクラスター発生時は、自治体の疫学調査を受け、保育環境の見直しを実施している。食事中のパーテーション設置や午睡時には頭の向きや身体的距離をとるなど対策を行っている。リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるようにしている。毎月、避難訓練、不審者訓練を実施しており、今年度は、避難先での受け渡しの練習を行っている。			
③ 個人情報保護に関する利用目的及び規程類を整え、職員と保護者に周知徹底している 個人情報保護規程が整備され、実習生、ボランティアの受け入れ時オリエンテーションでの説明や、承諾書にて周知徹底が図られており、保護者には重要事項説明に明記して入園説明会で説明して理解を得ている。また、子どもの個人ファイルや会議録などは、項目別に整理して情報管理し、鍵付きの書庫にて管理している。園内にパソコンを配備し、情報の伝達と共有や記録作成など、業務の効率化と、防犯カメラの設置による子どもの情報管理や機密重要情報管理が格納され、パスワード設定によるアクセス制限を掛けて情報漏洩も防止している。			
5	カテゴリー 5		
	職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー 1 (5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	10/12
評価項目 1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点 (○○)			
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		○非該当

☒ あり ☐ なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目 2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点 (●●●)		
評価	標準項目	
○あり ☒ なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ☒ なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目 3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
☒ あり ☐ なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
☒ あり ☐ なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目 4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点 (○○○○)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
☒ あり ☐ なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
☒ あり ☐ なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー 2（5－2）		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3/3
評価項目 1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評点 (○○○)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
☒ あり ☐ なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
☒ あり ☐ なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
カテゴリー 5 の講評		

	① 中期的人材育成計画と個人別の人材育成と結びつけたキャリアアップに取り組んでほしい 園が求める職責や人材像については保育士の資格をもっていて、子どもが好きであること、保護者や保育士、栄養士ともにコミュニケーションをとることができ、明るく楽しく笑顔で接すること、子どもを優しく包み込む包容力があることとしており、求められる人材を育成するために、面談の実施、自己評価、人事考課等で目標の達成具合を確認しているが、個別の育成計画の実施が行われていない。特に、法人としてキャリアパスの職員にわかりやすく周知する取組や、法人のキャリアパスと園の育成方針を連動させた人材育成計画の策定の面では課題が見られる。 ② 職員の意欲向上へのサポート面ではシステムを整え対応を図っている 園では働き方改革を進めており、有給取得率については、毎月の有給取得状況を確認している。残業0を目指して時間管理を行い、労働時間の超過がないようにしている。また、毎年全職員と園長が面談を行い職員の要望を把握・検討している。日頃より、風通しの良い職場にする為、報告、連絡、相談を意識して業務を行っている。定例会の他に今年度は昼礼を設け、連絡ノートやラインも活用してコミュニケーションをとっている。 ③ 理念や基本方針などの実現に向けて組織力を発揮、強化できるよう仕組みを整えている 職員の日頃の気づきや工夫のアイデア等を生かすため、定例会議、面談、日々の保育の中で気づきに対して話し合う場を設け、様々な意見交換が行われている。保育力向上リーダーを選出し、今年度は園内研修の充実を図っている。報告書は全職員が閲覧できるように工夫している。また、内容によっては発表するケースも行っている。活動が効果的に進むよう、主任と打ち合わせをし、経験や年齢、保育観を考慮して体制を整え、リーダー会議を実施している。						
7	カテゴリー 7 事業所の重要課題に対する組織的な活動 サブカテゴリー 1 (7-1) 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている 評価項目 1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1） 前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ） 地域の子育て家庭の支援を重要課題として捉え、前年度の重点目標に、育児相談2件、保育所体験6件、給食体験2件の実施を掲げている。重点施策として、園生活、小規模園の良さをアピールし、見学のみならず保育所体験の実施を行った。その結果、重点目標に掲げたことが20%達成できた。その原因として考えられることは、目標設定や取組などのプロセスで改善すべき点として、新型コロナウイルス感染症がまん延している中、目標数値が高すぎたことを明らかにしている。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて、感染症対策を強化しながら、様々なツールを使って自園の取り組みをアピールし、再度、園見学のみにならず保育所体験6件、育児相談2件、給食体験2件の実施を目標に掲げている。						
	<table> <tr> <td>目標の設定と取り組み</td><td> ●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった </td></tr> <tr> <td>取り組みの検証</td><td> ●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である </td></tr> <tr> <td>検証結果の反映</td><td> ●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である </td></tr> </table>	目標の設定と取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった	取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
目標の設定と取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった						
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である						
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である						

評価項目 1 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
前年度の重点目標に、育児相談 2 件、保育所体験 6 件、給食体験 2 件の実施を掲げ、その結果、重点目標に掲げたことが 20%達成できたことで、その原因として考えられることは、目標設定や取組などのプロセスで改善すべき点として、新型コロナウイルス感染症がまん延している中、目標数値が高すぎたことを明らかにしているとあるが、その原因として考えるべきことは、目標数値が高すぎたことでは無く、どうすれば定量化した目標に近づけられるかを分析してほしい。コロナ禍でもやりようによればできること、但し、給食などの体験は感染症のリスクの点から難しいと感じる。育児相談や保育所体験などはコロナでも工夫すればできるのではないだろうか。室内で実施すればリスクはあがるが、室外で実施すればそれなりにリスクはさがるのではないだろうか。	
評価項目 2	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その 2）	
前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）	
常勤保育士のスキルアップを重要課題として捉え、前年度の重点目標に、年 1 回は園外研修を受講することを掲げた。前年度の重点施策として、自治体や会社から届く研修の情報共有と研修への促しに取り組んだ。その結果、重点目標に掲げたことが 100%達成できた。その要因としては、情報を漏らさず共有し、研修に参加しやすい体制を作ったことが上手く機能し、達成に繋がったとことと考えられる。こうした一連の取組を検証し、今年度に向けて、年 1 回の園外研修受講と年 1 回の園内研修の担当に上げた取組に発展させている。	
目標の設定と 取り組み	●具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	●目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	●次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目 2 で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
前年度の重点目標に、年 1 回は園外研修を受講することを掲げ、重点目標に掲げたことが 100%達成できたことは評価できる。また、その要因の情報を漏らさず共有し、研修に参加しやすい体制を作ったことが上手く機能し、達成に繋がったとことと位置づけていることも評価できる。今年度に向けて、年 1 回の園外研修受講と年 1 回の園内研修の担当に上げた取組に発展させているので、P D C A サイクルが機能している点が評価できる。	

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		
	① 利用希望者が入手しやすい方法で園の情報を発信している 法人のホームページでは、保育理念やビジョン、地域とのつながり、職員のインタビュー、第三者評価の受審結果などについて写真を使いながら具体的にわかりやすく説明している。また、Facebookによる園情報の発信を行い、子どもたちが園で過ごしている様子を知らせている。「入園ガイド」は、カラーで一日の流れや年間行事の予定、入園に向けて準備することなどを簡潔にまとめている。見学や保育体験など個別に丁寧に対応し、利用する際の安心につなげている。 ② 利用希望者等の見学は、個別に丁寧に対応している 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、感染予防対策をしたうえで個別に対応している。状況によっては全園児が帰宅後の18時30分からの見学を実施し、窓越しからの見学ではなく内覧できることで見学者より好評を得ている。保育体験や給食試食、育児相談などの地域貢献活動を通して園の様子を知ってもらう機会も多くもっている。今後は「入園ガイド」などの園の情報を近隣の子育て世代が良く行く場所に置かせてもらうなどの取組に期待したい。		
2	サブカテゴリー2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

	サブカテゴリー 2 の講評		
	① 入園前面接では、基本的ルールや重要事項について丁寧に説明し、同意を得ている 利用決定の連絡が届き次第、できるだけ速やかに保護者と面接日を設定している。入園前面接では、「入園のしおり」や「重要事項説明書」をもとに、園の基本的ルールや重要事項について説明している。持ち物の説明の際には、実物を見せたり、入園のしおりに写真を載せたりし、保護者に分かりやすく伝わるよう工夫している。説明の際は、保護者の要望や利用方法をその都度確認しながら丁寧に対応している。説明後には、「利用契約書」にサインをもらい同意を得ている。 ② 子ども一人一人の慣らし保育のスケジュールを組み、不安やストレスの軽減に努めている 入園前面接時に把握した情報は、入園前面接記録、保育経過記録に記録し職員間で共有している。利用開始直後の子どもの不安やストレスを軽減するために、保育時間を少しずつ延ばしていく「慣らし保育」を行っている。緩やかな担当制を取り入れ、担当保育士が密に関わるよう意識し、保育を行っている。慣らし保育は、保護者の就労状況と意向を聞きながら、子どもの負担軽減のため、時間を徐々に延ばして2週間程度行っている。就労状況や子どもの様子によって、保育時間や慣らし保育期間を変更するなど、個別対応も行っている。		
3	サブカテゴリー 3		
	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12/12
	評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点（〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
	評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点（〇〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
	評価項目 3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
	評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
	●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

	サブカテゴリー 3 の講評		
	① 子どもの心身状況や生活状況等は、園で統一した様式に記録し職員間で把握している 子どもの心身状況や生活状況等は児童票や保育経過記録など、園で統一した様式に記録し、職員間で把握している。子どもや保護者の要望については毎日の連絡帳のやり取りや個人面談時に確認し記録に残している。基本情報については、年度末に全園児見直しが図られている。複写式の連絡帳を使用し、記録を保管している。子どもや保護者の要望については毎日の連絡帳のやり取りや個人面談時に確認し記録に残している。 ② 指導計画は、全体的な計画をもとに年間、月案、週案で作成されている 全体的な計画は、園が大切にしている保育理念や保育方針をもとに立案されている。指導計画は、全体的な計画をもとに年間、月案、週案で作成され、保育日誌には子どもの様子と共に評価・反省が記入されている。今年度は緩やかな担当制を取り入れ、個別の指導計画を立案し、子ども一人一人を尊重した保育に努めている。指導計画は、子どもの体調や状況に応じて変更をし、振り返りを行っている。評価、反省点を次に活かせるようにしている。 ③ 子ども一人一人に関する情報を職員間で共有している 子ども一人一人に関する情報は、登降園連絡事項表や保育経過記録用紙、連絡帳などへ記載している。連絡帳は複写式を使用し、控えを園に保管している。指導計画に沿った保育内容については保育日誌に記載し、具体的な内容は保育経過記録に記録している。子どもや保護者の状況変化については、登降園連絡事項表と連絡ノートを活用し、共有している毎日昼礼を実施し、昼礼に参加した職員が参加していない職員に引継ぎを行っている。職員会議録は事務室の書庫に保管し、会議に参加していない職員は内容確認後、サインしている。		
5	サブカテゴリー 5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
	評価項目 1		
	子どものプライバシー保護を徹底している		評点 (〇〇)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点 (〇〇〇)
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
	◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
	◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
	サブカテゴリー 5 の講評		
	① 個人情報の取り扱いについて同意を得ており、羞恥心にも配慮している 個人情報の取り扱いについては、入園前面接で説明し、写真や制作物などの取り扱いについてはホームページ上への掲載やビデオレター等へ掲載など項目ごとに同意するか同意しないかを書面で確認して提出してもらっている。当園では、個人情報開示規程、個人情報管理規程を定めている。子どもの羞恥心に配慮するために、おむつ交換はトイレで行い、着替えは人目のつきにくい場所で行っている。水遊び時はパンツと下着を着用して行い、周りの人の目に触れないよう、サンシェードを張っている。 ② 子どもの人権を尊重した保育に努め、虐待への理解を深めるために研修に参加している 子ども一人一人を尊重する保育を行うために、全園児の個別計画を立案し、子どもの成長、発達、家族環境など、状況に応じながら対応している。緩やかな担当制を取り入れ、担当保育士との信頼関係の構築のもと、安心して過ごせる環境づくりに努めている。虐待防止や育児困難家庭への支援に向け、キャリアアップ研修への参加や園内研修を行い、虐待についての知識を得て、早期発見に努めている。多様化している家庭背景について理解しようと努め、「子どもにとって良いことは何なのか」を考えて保育を行っている。		
6	サブカテゴリー 6		

事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目 1			
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			評点 (〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		○非該当
評価項目 2			
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			評点 (〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		○非該当
サブカテゴリー 6 の講評			
① 職員用のマニュアルを配布し、一定水準の保育を提供している 当園は「保育するにあたって」や「勤務するにあたって」などの手引書やマニュアルを作成し、いつでも確認出来るように事務所の書庫に置いてある。緊急時におけるけいれん時の対応等、フローチャートを保育室に掲示し、共有しやすいようにしている。各種手引書は職員に配布し、緊急時や事故発生から30分以内に行うことなどについては更に掲示し手順を明確にしている。園の基本事項が記載されている入園のしおりの内容は適宜見直しを図り更新している。 ② 基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている 毎年1～2月に見直しを実施。安全性を重視して改善を行っている。コロナ禍に配慮した業務の見直しや、行事計画を立てている。園長と主任で1～2月に反省、評価を行い、見直しを実施した後、リーダー会議で検討し、職員会議におろして再検討、周知している。随時リーダー会議を実施し、その都度話し合う機会を設け、年2回運営委員会を実施し、保護者の意見や要望を把握し可能な限り、基本事項に反映するようにしている。			

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー 6-4）

		サブカテゴリー 4		
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	35/35	
1	評価項目 1 子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている			評点 (〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当	
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
	評価項目 1 の講評			
	① 子どもの全体的な姿を把握し、子どもが主体的に遊べる環境設定に努めている 入園前の面接、日々の送迎時の対応、連絡帳、個人面談、保護者会等で保護者と子どもの情報を共有し、保育を行っている。慣らし保育中は、園での姿を細かく伝え、抱っこをするなどしてじっくりと関わっている。子どもの健康と安全を守るため、園だよりで保健的環境について触れている。子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、様々な自然物に触れる遊びを取り入れ、子どもが自ら関わりたくなるような環境を作っている。また、近隣の公園や公共の施設に出掛け、様々な人と関わる力を育てている。 ② 発達過程で起きるトラブルは気持ちに寄り添い、関わりを大切にした対応に努めている 保護者会では、子どもの怪我、かみつ、ひっかきについて資料を配布し、子どもの成長と発達に沿って説明し、保護者の不安軽減にも繋げている。発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、双方の気持ちを受け止めて代弁し、かみつかれたりした際には適切な処置を行っている。保護者にはトラブルを防げなかったことをお詫びし、状況を説明し、誠実な対応に努めている。			
2	評価項目 2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			評点 (〇〇〇〇)
	評価	標準項目		
	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当	
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当	
	評価項目 2 の講評			
	① 登降園時には保護者と園で子どもの様子を共有している 登園時には、子どもの視診を行い、体調面を重視して口頭で確認している。連絡帳は手渡しで受け取るようにし、食事や排便、お迎え時間も確認している。確認内容は、登降園連絡事項表に記入し、担任に口頭でも引き継ぎを行い、その内容を反映して保育を行っている。降園時は、子どもの1日の様子を連絡帳及び口頭で伝えている。また、遊んでいる様子を撮影した写真を印刷し、子どもたちの様子がわかりやすく伝えるように工夫をしている。 ② 緩やかな担当制を取り入れ、基本的な生活習慣の確立に向けて取り組んでいる			

	緩やかな担当制を取り入れ、担当保育士が生活面の核となる部分に関わるようにし、家庭での状況を確認しながら援助している。担当制としたことで一貫した保育が期待でき、子どもとの信頼関係を築いている。子どもが安心して生活することで、情緒が安定するよう援助している。トイレトレーニングについては、4月の保護者会で資料を配布し、家庭と園で連携して取り組むことを伝えている。できる、できないに関わらず、やってみようとする姿を十分認め、誉めて自信につなげられるようにしている。 ③ 子ども一人一人に合わせた生活リズムを大切にしている 子ども一人一人の個別指導計画を作成し、睡眠や食事の状況は登園時に保護者とコミュニケーションを図り前日の子どもの様子を聞き、その日の状態に合わせて保育を実施している。睡眠リズムがなかなか確立できない子どもや1回寝や2回寝もあることから一人一人に合わせた生活リズムを大切にしている。体調が万全ではない子どもや夜泣きをした子どもなどは、室内で静かに過ごせるよう配慮したり、睡眠時間を確保したりしている。																							
3	評価項目 3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点 (〇〇〇〇〇〇) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th><th style="width: 75%;">標準項目</th><th style="width: 10%;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table> 評価項目 3 の講評 ① 年齢に合わせた室内遊具や戸外遊びなど環境の工夫をしている 天気の良い日は戸外で遊ぶ時間を設け虫や植物などに触れて自然を感じたり、探索活動を楽しんだりしている。室内あそびではままごとや紙芝居、パネルシアターなど子どもの好みや主体性を大切にしながら遊びが工夫されている。子どもが主体的に関われるように子どもが興味を示す遊びを保育者も一緒に楽しみながら、興味や意欲がもてるような言葉をかけたり、誘いかけていたりしている。例えば、感触遊びに誘っても遊ばない子どもが、寒天を見せることで興味をもって遊び始めている。無理強いすることなく、一人一人の気持ちを大切にしている。 ② 子どもが様々な関わりの中で、表現活動を楽しむ機会を設けている 子どもが様々な表現を楽しめるように、音楽に合わせて身体を動かしたり（リトミック）、自然物を利用して制作をしたりしている。また、ごっこ遊びを通して保育者や友だちと会話のやり取りを楽しんでいる。子どもの「やりたい」という意欲に共感して、一人一人にじっくり関わる保育を展開している。生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、気持ちを調整する力を育てられるように、おもちゃの取り合いが起こった時は、子どもの思いを受け止めて言葉にし、相手の思いも伝えている。 ③ 近隣の公園や環境を活かし、季節ごとの自然に目を向け戸外活動を楽しんでいる 積極的に近隣の公園や公共の施設などに散歩に出かけ、戸外遊びの機会を多く作っている。主活動のねらいをもち、季節を感じることができる自然の多い場所へ出掛けている。遊ぶ姿を見守りながら、子どもたちが興味を示している物や発見に声をかけ、共感している。例えば、梅雨期にカタツムリ、ダンゴ虫を捕まえに行き、観察したり、触ったりして楽しんでいる。利用者調査結果からも、自然の生き物や植物に沢山ふれる機会があることや毎日いろいろなコースに散歩に出かけている様子についてなどの声が寄せられている。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当																						
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当																						
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当																						
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当																						
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当																						
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当																						
4	評価項目 4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (〇〇〇) <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th><th style="width: 75%;">標準項目</th><th style="width: 10%;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当												
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当																						
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当																						

	☒ あり ☐ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	☐ 非該当
評価項目 4 の講評			
① 日常生活の中で無理なく季節の行事を取り入れている 年度末に行事についての振り返りを行い、見直しをして来年度の行事を決定している。クラスリーダー会議から職員会議におろしていき、全職員で検討している。0～2歳児園の当園は、集団で何かを行うことは難しい年齢の子どものため、子どもへの負担が大きいと考えられる行事は行わず、日常生活の中で無理なく季節の行事を取り入れている。行事にちなんで給食やおやつをアレンジし、季節を感じられるようにして文化を伝える取組を行っている。			
② 保護者に保育計画や行事計画を伝え、理解や協力を得ている 保育者の模倣から、2歳児がパペットシアターに興味・関心をもったため、誕生会に保育者と一緒に馴染みの曲でパペットシアターを演じて、誕生日の子どものお祝いをしている。また、夕涼み会に向けて、制作等の準備を保育者と一緒に行い、実施している。保育計画や行事計画、汚れても良い服や靴の準備、洗濯などのお願いごとを保護者一人一人に事前に伝えることで理解や協力を得ている。夕涼み会は、時間分散で保護者参加のうえ実施し、普段見ることのできない子どもの姿を見てもらい、保護者同士の交流を図る機会も設けている。			
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点 (〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	☐ 非該当
評価項目 5 の講評			
① ゆったりとした環境の中で落ち着いて生活できることを大切にしている ゆったりとした環境と雰囲気作りを大切にし、子どもと保育者が1対1での遊びやスキンシップなど一人一人が落ち着いて生活できるように配慮している。また、夕方になると1日の疲れが見られるため、休息が必要な子どもには1対1の関わりをしながら過ごしている。0～2歳児園として、子どもの生活リズムを大切にして気持ちに寄り添った保育に努めている。			
② 保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている 日中の保育の様子や流れを大切にするために、昼礼やクラスボードで子どもの様子を引き継ぎ、一人一人の状況を把握している。いつでも水分補給ができるよう、お茶とコップの準備をしている。保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるように玩具の入れ替えを行ったり、パネルシアターや絵本、紙芝居など、座って見て楽しめるものを用意したりしている。家庭的でゆったりとくつろげる環境や個別的な関わりなど、子どもが負担なく落ち着いて過ごせるよう援助している。			
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができ食事を提供している 評点 (〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	☐ 非該当
評価項目 6 の講評			
① 子ども一人一人の食べ方を見守りながら自分で食べようとする気持ちを大切にしている 子ども一人一人の食べ方を見守りながら、発達状況に合わせて個別に対応し、手づかみ食べをしっかりと行ったりすることや無理強いのないようにしたりするなど、自分で食べようとする気持ちを大切にしている。食事の前後に挨拶をするなど、食事のマナーの芽生えを育てている。子どもが落ち着いて食事がとれるように体に合った高さの椅子や机を設定している。行事食は季節や文化が感じられるよう、食材や盛り付け方などの工夫をしている。誕生日会の日、お誕生日メニューを提供し、特別感を感じられるようにしている。			

	② アレルギー症状の出やすい卵を完全に除去した食事を提供している 当園は、アレルギー症状の出やすい卵を完全に除去した食事を提供している。自治体の食物アレルギー対応マニュアルに沿って当園のマニュアルを作成し、安全でおいしく食べられる食事を目指している。病気や宗教等の理由により食品除去が必要な場合は、食物除去指示書を基に保護者と献立表を確認し、承諾を得た上で給食提供を行っている。家庭での生活状況や食事の状況について、家庭と連携し合って安心して食べられる環境作りもしている。 ③ 「生活のリズムを確立し、よくかんで楽しく食べる」を目標に食育活動に取り組んでいる 「生活のリズムを確立し、よくかんで楽しく食べる」を目標に、年齢別でも目標を立て、食べる意欲を大切にしながら援助している。栄養士と連携をとり、季節の食材に触れる機会を多く取り入れ、栽培活動やクッキングなどを行い、食に興味をもてるような活動を工夫して行っている。食べたいものから食べられるように配膳し、苦手なものは無理強いせず、成長と共に食べられるものが増えていくよう援助している。栄養士と保育士が連携し、子どもの食べ進みなどについて情報共有を行いながら食育活動に取り組んでいる。																				
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点 (○○○) <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている</td><td>○非該当</td></tr></table> 評価項目 7 の講評 ① 子どもの怪我や事故を予防・防止できるように安全対策に力を注いでいる 子どもの怪我や事故を防げるように保育環境を整え、保育者の体制などにも配慮して保育にあたっている。子どもたちの保育環境を子ども目線で確認し、コーナーガード、棚の点検、防犯ロック、ドアの指詰め防止などの設置を行い、職員会議で確認して職員間で共有し安全対策に力を注いでいる。登園時には、連絡帳や保護者との直接のやり取りで子どもの健康状態の把握を行い、保育に反映している。園内と園外のヒヤリハットについて園内研修を行い、事故予防に努めている。随時見直しをし、場合によっては法人本部に報告し、環境を整える仕組みがある。 ② 保護者と連携をとって、子ども一人一人の健康維持に向けて取り組んでいる 保育中に体調の変化があった時には随時保護者に連絡をし、情報を共有している。状況によってお迎えを依頼したり、受診を勧めたり、経過観察をしながら保育を行ったりしている。園だよりでは、午睡中に気を付けていることや感染症に罹患した時のことなどを伝えている。SIDS防止のためブレスチェックを実施している。午睡チェック表には体の向きや咳、鼻水など気になる症状についても記入している。生活リズムの大切さや歯の大切さ、皮膚のケアについて等、時期や子どもの発達に応じたテーマで保護者に情報提供を行っている。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当						
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当																			
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当																			
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当																			
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点 (○○○○○) <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. 保護者同士が交流できる機会を設けている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している</td><td>○非該当</td></tr></table> 評価項目 8 の講評 ① 個々の家庭や就労状況に合わせて保護者に寄り添い柔軟な対応に努めている 保護者の子育てや就労等の個々の事情に配慮するために、入園前面接や登降園時のやり取り等で事情を把握し、臨機応変な対応に努めている。就労以外の理由での利用も受け入れ、子育て家庭を支援している。また、土曜日は、前月の15日までの申請で利用が可能となっている。利用者調査結果からも柔軟な対応が窺える。保護者負担を軽減する目的で、紙おむつの定額サービスを導入している。利用については強制ではなく、各家庭で選択できるようにしている。 ② 個人面談等を通じて、園の取組や子どもの育ちに関する共通理解の形成に取り組んでいる			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当																			
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当																			
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当																			
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当																			
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当																			

	コロナ禍で保護者交流が難しくなっている中、今年度は感染症対策を講じ、クラスごとに保護者会を行っている。8月には夕涼み会を実施し、保護者も参加することができた。子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得るために、ドキュメンテーションなどを通して、その日の活動や夢中になっている遊びを紹介している。連絡帳や登降園時のやり取りを丁寧に行い、子どもの様子を伝え合っている。また、保育参加、個人面談を行い、子どもの成長を一緒に喜んだり、悩みを共有したりする中で保護者の気持ちを受け止め、信頼関係を構築している。		
9	評価項目 9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
	評価項目 9 の講評		
	① 理念をもとに地域資源を活用しながら地域交流を大切に行っている 「心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む」ことを理念の一つに掲げ、地域交流を大切に行っている。近隣の公園や児童館、図書館を利用し、子どもが地域の人と接する機会を設けている。また、地域の情報も把握し、地域の子育て家庭をサポートしている。育児相談や保育所体験、給食体験の他、学生への保育士体験や福祉施設との交流を実施している。福祉施設には、子どもたちが制作したうちわを贈っている。制作の様子を主としたドキュメンテーションも作成し、うちわと一緒にプレゼントしている。 ② 地域とのつながりをもち、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している 地域とのつながりをもち、取り組む担当者を決めて地域貢献活動を進めている。取組内容については、職員で話し合っていて決めている。地域の子どもを誘って、ハロウィンイベントを実施したり、保育士を目指している学生へ保育士体験の誘いをしたり、近隣の中学校の職場体験の受入れをしたり、地域に開かれた園として様々なことに取り組んでいる。子どもが職員以外の人と交流できる様々な機会を確保している。		

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	保護者負担軽減のため、紙おむつの定額サービスを導入している	
内容①	0～2歳児の小規模事業所である当園は、保護者負担軽減のため、紙おむつの定額サービスを導入している。導入の際には、2か月無料のキャンペーンが行われ、保護者は気軽に試すことができ、利用時のメリットやデメリットについて確認できた。利用する際は、Web上で登録や解除が自由にでき、強制ではなく選択制にしている。保育時間の長さや利用日数など、各家庭の生活スタイルや考え方に合わせながら利用できるため、サービス向上の一つとして期待できる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	緩やかな担当制を取り入れ、手厚い人員配置で保育を行い利用者調査からも高い評価を得ている
	内容	子ども一人一人を大切にするために、緩やかな担当制を取り入れ、担当保育士が密に関わるよう意識し、保育を行っている。また、手厚い人員配置で保育を行い、一人一人の子どもに寄り添っている。少人数の温かい保育をモットーに家庭的で柔軟な対応を心がけて保育している。子どもの負担になると考えられるような大きな行事は行わず、人としての基盤を作るため、生活習慣の確立や信頼関係の構築、愛着形成に重点を置いた保育を展開している。利用者調査結果からも園に対する感謝の声が多く寄せられており、総合満足度が100%と高い評価を得ている。
2	タイトル	「心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む」理念をもとに地域資源を活用しながら地域交流を大切に行っている
	内容	地域の社会資源を記したお散歩マップを作成し、危険個所の共有も行い、積極的に散歩に出かけて戸外活動を楽しんでいる。近隣の公園や児童館、図書館などの地域の社会資源を最大限利用し、子どもが地域の人と接する機会を設けている。また、地域貢献リーダーを設定して、園に通う子どもだけでなく、地域の子育て家庭をサポートしている。育児相談、保育所体験、給食体験のほか、学生への保育士体験や福祉施設との交流を実施し、子どもが多様な経験ができる機会を設けている。
3	タイトル	子どもが食に興味をもてるように、栄養士と保育士が連携を図り、子どもの健やかなる成長を育んでいる
	内容	食育目標に「生活のリズムを確立し、よくかんで楽しく食べる」を掲げ、子ども一人一人の食べ方を見守りながら、発達状況に合わせて個別に対応し、手づかみ食べをしっかりと行ったりすることや無理強いのないようにしたりするなど、自分で食べようとする気持ちを大切にしている。食事は、旬の食材を使って手作りの美味しい食事を提供している。子どもが食に興味をもてるように、栄養士と保育士が連携を図り、きのこや野菜の栽培、クッキングなどの食育活動に取り組み、子どもの健やかなる成長を育んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	理念・方針をはじめとする目指す保育や事業方針を発信し続けるマネジメントに期待したい
	内容	昨年度11月に就任した園長は、職員や利用者の声に耳を傾けた運営を行っている。前任との引き継ぎ内容の理解、今まで行ってきたことを関係者に発信し続けるマネジメントができれば、園の価値が大きくなるため、理念・方針など目指す保育について、事業計画と現場に伝わる言葉で職員に浸透させてほしい。保護者への見える化による自然な形での積み重ねが、保育理念の浸透に役立つので理解を深めながら保育環境の充実につなげてほしい。

2	タイトル	園としてめざすべき将来像に向かった保育を事業として遂行するためには、実行計画としてみえる化してほしい
	内容	園の未来予想図や業務推進の面も視野に入れた独自の中・長期事業計画の策定に期待したい。そうすることで、基本理念等ならびに事業目的を明確化し、組織に浸透させてほしい。また、継続性、計画性に基づいた意思決定を推し進めることができるため、園のめざすべき将来像がはっきり見えてくる。結果、組織内外に説明することで保護者の信頼もより高めることができるのではないだろうか。小規模であればある程、環境の変化に影響を受けやすいというリスクを抱えているため、中・長期的な視野をもって、施設の修繕計画や人材確保を行ってほしい。
3	タイトル	子どもに対する事故予防だけではなく、リスクマネジメントという視点で取組ことに期待したい
	内容	園内でのリスクについては大規模な地震を優先順位の高いリスクとして訓練等において準備を行っている。また、事故予防として、ヒヤリハットの提出や事故報告書の作成、再発防止策についての検証が行われている。一方、ヒヤリハットはあまりあがっていない状況にあるが、園舎の定期的な点検や危険予知能力を高める訓練などを行うことで、ヒヤリハットを活かしたリスクマネジメントに取り組んでみてはどうだろうか。リスクマネジメントは影響を小さく、影響を他に移す、受け入れる考えにもとづきリスクの適正化を図り、上手くリスク管理を行ってほしい。